

医薬事業 臨床開発品目一覧 (2014年7月30日現在)

< 自社開発品 >

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
JTK-303(elvitegravir)/ cobicistat/emtricitabine/ tenofovir alafenamide 配合錠	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害/ 逆転写酵素阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる2つの酵素の働きをインテグラーゼ阻害剤と核酸系逆転写酵素阻害剤により阻害し、ウイルス量を低下させる	国内:Phase3 国際共同治験*	新規配合錠 JTK-303(elvitegravir)は自社品 他3成分は導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内:Phase2 海外:Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内:Phase2 海外:Phase1	自社品
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase1	自社品
JTE-151	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTE-350 ** (ヒスタミン二塩酸塩)	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール/注射剤	ヒスタミン受容体アゴニスト	皮内のヒスタミン受容体に作用し、検査部位の皮膚に膨疹および発赤反応を誘発させる	国内:申請準備中	導入品 (ALK社) 鳥居薬品と共同開発
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、高血糖を是正する	海外:Phase1	自社品
JTT-252	2型糖尿病 /経口	SGLT1阻害	小腸の糖吸収トランスポーター(SGLT1)を阻害し、高血糖を是正する	海外:Phase1	自社品
JTK-351	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイルス量を低下させる	国内:Phase1	自社品

(注)開発段階の表記は投薬開始を基準とする

*Gilead Sciences社の国際共同治験に参画

**厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われた品目

< 導出品 >

一般名等	導出先	作用機序		備考
elvitegravir	Gilead Sciences社	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイルス量を低下させる	(適応:HIV感染症) 単剤 米国 申請中 新規配合錠 (elvitegravir/cobicistat/emtricitabine/tenofovir alafenamide) Phase3
trametinib	GlaxoSmithKline社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応:メラノーマ dabrafenib併用) Phase3
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	

前回公表時(2014年4月24日)からの変更点

< 自社開発品 >

- ・JTT-252 新規臨床入り(海外Phase1)
- ・JTK-351 新規臨床入り(国内Phase1)
- ・JTK-303(単剤) 国内開発中止により削除

< 導出品 >

- ・Mekinist(trametinib)につき、GSK社が、BRAVF600遺伝子変異陽性の切除不能または転移性メラノーマを適応症として欧州EMAより承認取得を公表(2014年7月4日)